

定例記者会見

日時 令和3年8月23日（月）

午後1時半～

場所 市民プラザたけふ4階 多目的ホール

1 市長あいさつ

記者の皆様には、日頃より越前市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

最初に「東京2020オリンピック」「新型コロナウイルス感染症対策」「北陸新幹線」「コウノトリの巣立ち」「人口減少への対応」「健全財政の維持」の6点についてご報告します。

【東京2020オリンピック】

さて、7月23日から8月8日に開催された東京2020オリンピックに、本市出身の3選手が出場を果たし、大活躍しました。

まず、見延和靖選手がリーダーとして牽引してきたフェンシング・エペ男子団体が見事、金メダルを獲得しました。

本市では初めてのオリンピックメダリストの誕生であり、心からお祝い申し上げます。

見延選手の夢に立ち向かう情熱と、これまで積み重ねてこられたご努力に敬意を表しますとともに、市民に大きな勇気と感動を与えていただき感謝します。

佐藤希望選手は、ロンドン・リオデジャネイロに続く3大会連続のオリンピック出場であり、県勢として初の偉業達成です。

2人のお子さんの出産、子育てによるブランクがありながら、日本女子エペのトップを維持し、世界を舞台に活躍してこられたご努力に敬意を表します。

今後女性活躍の先陣を切り、一層活躍されることをお祈りします。

村上めぐみ選手は、小学校から続けてこられたバレーボールからビーチバレーボールに転向し、世界で戦う技と精度を磨くために、人一倍努力し

てこられたことに敬意を表します。

オリンピックでは体格で上回る選手に対して果敢に挑み、相手選手の強烈なスパイクを飛び込んで拾う姿にとっても感動しました。

3選手には、これからも日本のフェンシング界・ビーチバレーボール界のさらなる躍進に向け、益々ご活躍されますことを心からお祈りします。

なお、本市では3選手の活躍を称え、9月26日に市内2箇所で開催を計画しており、9月補正予算案に所要額を計上いたしました。

【新型コロナウイルス感染症】

次に、新型コロナウイルス感染症対策については、感染力が強いとされるインド由来のデルタ株の急激な広がり、8月20日に全国で1日あたり過去最多の2万5,876人の感染が発表され、病床の確保が追い付かず、自宅療養者が急増するなど、医療体制の深刻さが一段と増しています。

本県でも8月3日に、過去最多の43人の感染者が発表され、その後も20人を超える感染が継続している状況です。

本市における感染者数も、8月に入りこれまで経験したことがない勢いで急拡大し、8月は1日から22日までで113人の感染が報告されています。

昨年3月から本年7月末までの累計111人をこの1カ月足らずで上回り、感染拡大には歯止めがかかっていない状況です。

こうした中、市ではこれまでに70回の市新型インフルエンザ等対策本部会議を開催し、全庁体制で感染防止対策に取り組んでいます。

また、市では感染の急拡大を受け、感染拡大防止の取組みに理解を求めするため、昨年9月4日以来となる市民への緊急要請を8月11日に、12日には武生商工会議所と越前市商工会との連名で初めて、事業所への要請を発出しました。

新型コロナウイルスワクチン接種については、8月22日時点で6割近くの対象市民が1回目の接種を済ませていることから、9月末までに対象市民の65%が2回接種を完了すると見込んでいます。

今後も県や武生医師会等と連携し、接種を希望する市民が10月末までに2回の接種を完了できるよう、円滑なワクチン接種に取り組んでまいります。

【北陸新幹線】

次に、北陸新幹線については、昨年11月に着工した「越前たけふ駅」では、7月27日から外部の足場が外され始め、8月18日には駅名標の設置及び一部を除く駅舎中央部の外部足場の解体により、本市に飛来するコウノトリをモチーフとした駅舎の外観が現れました。

同駅に併設される「道の駅」については、管理等に必要な事項を定めるため、設置及び管理条例案を今議会に上程します。

現在、物販飲食等の運営事業者である株式会社鮮魚丸松が運営の準備を進めており、物販については、新鮮なカニなどの鮮魚や地場産野菜、本市の伝統的工芸品やお土産品の販売を予定しています。

また、飲食については、1階に立ち食いそばや駅弁販売、2階には宴会の開催も可能な飲食施設を整備し、ボルガライス等の地元グルメの提供も予定しています。

令和5年春の開業に向け、引き続き準備を進めてまいります。

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺の官民連携プロジェクトについては、7月30日に審査委員会を開催し、戸田建設株式会社をパートナー企業に選定しました。

8月19日には、官民連携プロジェクトを進めていくために必要な基本的な事項を確認することを目的に、市とパートナー企業、地元団体である越前たけふ駅周辺まちづくり協議会の3者で基本協定書を締結しました。

今後は3者が連携し、地権者や地元の関係団体等に丁寧に説明・協議などを行いながら、事業実施計画書の作成に取り組んでまいります。

併せて、APB株式会社の新工場立地を先行整備として推進するなど、第一期の主な進出企業候補との協議を進めてまいります。

並行在来線については、8月23日に開催された県並行在来線対策協議会幹事会において、経営計画の案が示されました。

計画案には、経営の基本事項をはじめ営業区間の状況、運営組織、運行計画、施設・整備計画、運賃水準及び経営安定化策、利用促進策などが盛り込まれています。

今後は県や沿線市町の議論を踏まえ、10月頃の県並行在来線対策協議会において経営計画が決定され、並行在来線準備会社へ引き継がれることとなります。

【コウノトリの巣立ち】

コウノトリが舞う里づくりについては、下中津原町の人工巣塔において、「イチローくん」と「ななちゃん」のペアから、坂口地区で初となる野外コウノトリの3羽の産卵と孵化が確認され、安養寺町の人工巣塔から6月8日に巣立った「春花（しゅんか）」ちゃんに続き、7月13日に「みそらちゃん」が、14日に「おうひちゃん」と「みどりちゃん」が巣立ち、坂口地区で初の巣立ちが実現しました。

今年は市内2箇所ですべて計4羽のひなが巣立ったことを大変嬉しく思い、これまでご協力いただいた地元や関係団体の皆様に感謝申し上げます。

今後も「市の鳥」であるコウノトリの自然繁殖と定着に向け、環境調和型農業の推進や休耕田ビオトープ等の整備を通して、コウノトリが舞う里づくりを推進してまいります。

なお、9月26日に開催予定の2021コウノトリが舞う里づくり大作戦では、農産物のブランド化と地域活性化に取り組む地域団体や企業の発表をはじめ、コウノトリ呼び戻す農法米を使った「ごはん塾」や野外コウノトリが巣立った市西部地域へのコウノトリツーリズムなどを行う予定です。

【人口減少への対応】

次に、人口減少への対応については、8月1日現在の本市の住民基本台帳における人口は8万2,276人であり、外国人市民の人口は5,198人で、人口に占める割合は6.3%となっています。

また、総務省の人口動態調査によると、本市の人口は前年比140人増加し、県内17市町で唯一のプラスとなりました。

引き続き第2期市総合戦略と市多文化共生推進プランを推進し、人口減少への対応と外国人市民との共生を図ってまいります。

【健全財政の維持】

次に、健全財政の維持について申し上げます。

昨年度3月補正予算において、市税6億7千万円を増額補正しましたが、決算においてさらに2億2,500万円上振れしたため、繰越金が約9億円となりました。

本年度においても、税収の上振れが見込まれるため、9月補正予算案において、繰越金の半分以上の5億円を財政調整基金に積み立て、財政基盤のさらなる強化を図り、健全財政を維持してまいります。

以上、6点をご報告しました。

それでは、本日の発表項目に移らせていただきます。

1つ目は「令和3年9月市議会定例会提出議案について」、2つ目は「東京2020オリンピック出場選手の祝勝パレードと市表彰について」、3つ目は「2021たけふ菊人形について」、4つ目は「第40回菊花マラソンについて」です。

以上で、私からの説明は終わります。

引き続き発表項目の詳細を各担当課からご説明します。

2 発表項目

- 1 令和3年9月市議会定例会提出議案について
 - (1) 提出予定議案等概要説明 ……資料1
 - (2) 令和3年度9月補正予算(案)の概要 ……資料1-2
- 2 東京2020オリンピック出場選手の祝勝パレードと市表彰式について ……資料2
- 3 2021たけふ菊人形について ……資料3
- 4 第40回菊花マラソンについて ……資料4

3 質疑要旨

2021たけふ菊人形について

【質問】新規に整備された大型遊具「コウノトリと大空散歩」は、たけふ菊人形が開幕する10月8日に運行を開始するのか。

【回答】9月25日のプレイベントから運行を開始する。

【質問】第70回記念の記念イベントとして行われる「70周年プレイバックイベント」では、具体的に何を行うのか。

【回答】イベントの内容は、現在調整中である。撮影会やきくりん風船の

配布、来場者への菊花プレゼントなど、過去のたけふ菊人形で実際に実施した内容も踏まえて検討している。

【質問】屋内催事場内には、菊人形を設置しないのか。設置しない場合は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策として設置しないのか。

【回答】屋内催事場内には、菊人形を設置しない。家族連れなどの来場者に写真スポットとして菊人形を身近に感じてもらえるよう、2年前から全て屋外で展示している。

第40回菊花マラソンについて

【質問】新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として設けられた定員は何人か。また、従来はどれくらいの人数が参加していたのか。

【回答】部門ごとに定員を設定しており、合計で2千人である。令和元年度の菊花マラソン参加者は、3805人であるため、今年はおよそ半分となっている。なお、3805人には、今年取りやめたハーフ種目の参加者も含んでいる。

【質問】新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、中止することもあるのか。

【回答】中止の判断については、感染拡大状況を踏まえ、実行委員会で検討していく。

東京2020オリンピック出場選手の祝勝パレードと市表彰式について

【質問】祝勝パレードを行う場所は、どのような理由で決められたのか。それぞれの選手の地元であるという理由か。

【回答】まず、南越中学校正門前から南中山小学校正門内までのコースは、見延選手と村上選手の地元が南中山地区であることから選定した。佐藤選手の地元である国高地区は、交通量が多く道路の規制が難しいことから選定していない。次に、武生中央公園内正面ゲートから噴水広場を回って戻るコースについては、同日にたけふ菊人形のプレイベントが開催されており、子どもたちが多く集まっていることが想定されるため、3選手の活躍を子どもたちに知ってもらいたいという思いで選定した。

【質問】新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、祝勝パレ

ードの沿道応援を越前市民に限定する、声を出さないように工夫するなどの対策を行う予定か。

【回答】市民に限定することは難しいため、密にならないよう呼び掛けるほか、マスク着用の徹底やスティックバルーン・うちわなどの小物を使った応援を想定している。

【質問】沿道上を並走しての取材はできないなど、撮影の制限はあるか。

【回答】制限はないが、並走して市民にぶつかるなどの危険な動きはしないよう、注意して撮影してもらいたい。

【質問】表彰の名目は、3選手とも同じか。

【回答】表彰内容については、検討中である。

【質問】祝勝パレードと市表彰式ともに、中止する場合の基準はあるのか。

【回答】現段階では、具体的な基準はない。祝勝パレードは、判断する時期と状況を検討した上で中止する。市表彰式は、状況に関わらず実施し、人数制限を行うなどの感染拡大防止対策を講じる。

令和3年9月市議会定例会提出議案について

【質問】新型コロナウイルス対策事業の「えちぜんし割」について、概要を詳しく教えてほしい。

【回答】県の「ふく割」サイトでクーポン「えちぜんし割」を発行し、サービス業や飲食、小売りなど市内「ふく割」登録店で税込み2千円以上使うと500円を割り引く事業である。クーポンの利用可能期間を10月1日から11月25日までとし、毎週金曜日に発行する。今後も、武生商工会議所や越前市商工会と連携し、利用可能店舗の増加を図っていく。

その他

【質問】若年層の新型コロナウイルス感染が増えている状況であるが、市内小中学校の新学期に向けてどのような対応をしているのか。

【回答】8月20日に市内の全小中学校長を通じて、児童・生徒の保護者へ子どもの日々の健康観察や学校への報告・連絡の徹底について通知した。また、市内の保育園や認定こども園の保護者に対しては、家庭での感染防止対策として、県境をまたぐ旅行等の原則中

止と早期のワクチン接種への協力を呼び掛ける通知を発出した。

【質問】 福井村田製作所武生事業所関連で新型コロナウイルス感染が広がっている状況であるが、市としてさらなる強い対策を講じる予定はあるか。

【回答】 PCR検査や新型コロナウイルスワクチン接種への支援を市が積極的に行うことで、早期に効果が表れることを期待している。まず、PCR検査については、福井村田製作所が外国籍の従業員に対し検査を行う際に、必要な通訳を派遣する準備を進めている。次に、ワクチン接種については、アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社から提供を受けた700人分のワクチンのうち、460人分を外国人市民向けに活用していく。また、8月11日には「市民の皆様への緊急要請」の外国語版を発出した。さらに、外国人市民が多く利用する店舗などに対し、県と連携しながら時短営業への協力を要請するなど、さまざまな対策を講じているところである。